

長崎市を今以上に住みやすい街へ

私は、長崎市は出島をはじめとする歴史的建造物が多いことに加え、緑も多く、景観も良いのでとても昔ながらの良い街であると考えます。しかし、問題点として坂が多く生活がしにくいことがよく挙げられる。特に最近では斜面地域の高齢化、斜面地域の若者離れなどが起こっており、とても高齢者の方が住みにくくなってきていることが現状としてある。そこで、私は長崎市に大規模な地下街をつくり、そこに高齢者街区を作ることを提案したいと考える。また加えて、地下に自転車専用道路や地下鉄などを作ることも提案しようと思う。



図1 稲佐山からの風景



図2 斜面地域

まず、地下に高齢者街区を作る理由としては、坂を利用することによる足腰の負担がなくなる事が挙げられる。また、今まで坂がきついということで家に籠りがちになっていた高齢者の方も坂がなくなることで、自分自身で買い物にいけるようになること、地下街ということで熱中症になる可能性が低くなる事がメリットとして考えられる。地下に公園も作ればゲートゴルフ大会なども行え、楽しく過ごすことができる。高齢者に斜面地域から移動してもらうことで、斜面地域をなくしそこに木や花を植えることで長崎市を緑豊かな街にすることができる。

次に、地下に自転車専用道路を作る理由としては、長崎は斜面が多くあり自転車が利用しづらいこと、地上にある既存道路はバスが多いことに加え、自転車の走る幅を考えられておらずとても危ないことがある。自転車専用道路ができることで走りやすくなり、自転車利用率が上がることで少なからず自動車率が下がり、CO2 削減に繋がる。また自転車専用ということで乗用車や人との接触事故も無くす狙いがある。

最後に地下鉄を利用する理由として、地上の通勤時などの交通渋滞を減らすことに繋がると考える。また、地下鉄を作るにあたり、路面電車を無くすのも良いのではないかと考える。路面電車を無くせば道路の車線も増え、長崎駅周辺での交通渋滞、自動車と路面電車の交通事故も無くなるのではと考えられる。福岡の地下鉄のように飛び出せないようにすれば小さい子供も安心して乗ることができる



図3 交通渋滞の様子

なぜ、地下を選んだと思う人もいると思うので、地下を利用する理由としてメリットを二つ挙げたいと思う。

一つ目に気候に左右されることがなくなることだ。長崎市は雨が多く湿度も高いため、梅雨の時期などとても住みにくい地域であるが、地下街を作ることによって移動に対する負担がかなり減ると考えられる。

二つ目に長崎市はまだ、地下鉄や地下街もないため広く土地を利用できると考えられる。高齢者街区作るだけだったら埋立地の利用も検討したが、長崎市は港の影響もあり土地を広げにくいこと、また今の水辺の森周辺などの景観を崩したくないこともあり不採用にした。

地下に作るということで、太陽の光を浴びることができないというデメリットがあったが、2018年に完成予定のニューヨークの世界初の地下公園のように地上に太陽光収集装置を設置し、採取した光を光ファイバーケーブルで地下に運び、反射板を使って照らすという仕組みを利用することが良いと考える。



図4 ニューヨークの地下公園完成予定図